

商学コース

専攻分野：商学

流通論演習

長谷川 博 教授



マーケティングの集積的な帰結でもある流通についてのこれからの理論／実践の現代化のために、多国間発展をいうにもせよ、つぎのように研究できるようにする。

第1には、なおさらに戦後の近代化過程に囚われずに日本の事（言）を踏まえる。その上で、論理、原理、道理、コンセプト（ \subset 規範）、理論的枠組、実践的仕組を考える。

第2には、意思決定／実行の地表（選択螺旋）における新たな方位の条件（構造論的現象論等々）や、学際／超学（ \subset 包摂論ありの諸学布置連座配置）的な問題群（レジリエンス問題など）の明確化、さらには現実／可能態におけるイノベーションの在り方を考える。

そして第3には、各自の研究テーマについて、ミクロ／マクロ的に、かつ総合／分析的に考える。